

1.1-8 汚染状況に関し正反対の情報がある。どれが正しいのか？

あなたのように心配している方が沢山います。特に小さな子供を持つ若いお母さん達は“自分は良いけど、子供のために放射能はゼロにしてほしい”と訴える方が多くいます。しかし、考えてみてください。私達は昔から元気に生活してきたのです。広島・長崎の原爆を受けても、広島市や長崎市は今あのように繁栄しています。チェルノブイリ原発事故後に犠牲になった人もいますが、徐々に元の環境に戻りつつあります。また、知ってほしいことは、自然界にはどこにでも放射線や放射能が原発事故に関係なく昔から存在していること、体の中には誰でもカリウム等の自然の放射能を持っていて内部被ばくしていることです。何に心配するかは個人の自由ですが、このような科学的な事実を知り、あまり神経質にならないでほしいと思います。生活する上での心配事は他にも沢山ありますが、マイナス面よりプラス面を見て生きる方が健康的です。マスコミは買ってもらうために“怖さ”を煽る記事を書く傾向にありますので、国（文科省等）、国連、IAEA 等からの情報を読むことをお勧めします。

(2015年1月回答)